

平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	野生生物との共生推進費		担当部局庁	自然環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成12年度		担当課室	野生生物課		課長 亀澤 玲治		
会計区分	一般会計		上位政策	5-3 野生生物の保護管理				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律第二条		関係する計画、通知等	保護増殖事業計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	近年野生生物と人との軋轢等が生じている等注目されている種について、野生生物と人との共生の推進を図るため、ガイドラインや保全策を検討することを目的とする。平成22年度は、生息地が開発にさらされることが多く、開発行為との調整を巡る問題が顕在化している希少種のサンバ及びコアジサシについて、生息状況や開発行為による影響について把握するとともに、効果的な保全策の検討を行った。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	H22年度は、サンバのガイドライン作成のために、既存文献調査や現地調査により、生息状況等について情報収集、有識者に対するヒアリングを実施し、開発行為を行う際に配慮すべき事項等についての検討を行った。また、コアジサシの保全手法の検討のために、生息状況及び各地で行われている保全策の事例について情報収集を行い、保全策の検討を行った。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	18	15	12	15	10	
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	18	15	12	15	10	
	執行額	21	12	5				
	執行率(%)	117%	80%	42%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	本事業は人と野生生物との共生の推進を図るため、対象種の生態を把握し、保全方針についてとりまとめるものであり定量的な成果目標及び成果実績を示すことはできない。	成果実績	—	—	—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	調査箇所数 (平成23年度より内容の異なる新規の事業を始めるため、H23年度の経過を踏まえ指標は変更予定)		活動実績 (当初見込み)	箇所	—	—	106 (103)	—
単位当たりコスト	45,566 (円/箇所) (平成23年度より内容の異なる新規の事業を始めるため、H23年度の経過を踏まえ指標は変更予定)		算出根拠	予算÷調査箇所数=事業実績1年当たりの調査地当たりの調査コスト				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	鳥獣等保護費	15	10	人件費等の見直しによる減				
	計	15	10					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成22年度はサンバ及びびコアジサシと人との共生の推進を図るため、ガイドラインや保全策の検討を行った。サンバ及びびコアジサシの事業については他の事業と統合し、さらなる効率化を図って減額要求している。H23年度からは近年特に注目されている海棲ほ乳類、特にジュゴンと人との共生推進のための事業を行う予定。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	希少種保護推進費及び希少種保護推進費の一部として統合すべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	人件費、調査旅費等の見直しにより、概算要求額を減額。		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
-			

※平成22年度実績を記入

環境省
5百万円

〔生息地が開発にさらされることの多い希少猛禽類等の生息状況を勘案し、効果〕

【総合評価・請負】

A.株式会社・財団法人(2機関)
5百万円

【内容】
現地調査、既存文献調査、保全方策事例の収集、有識者へのヒアリ

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.いであ株式会社			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	サシバ保護方策検討調査業務費	3			
計		3	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入 札 者 数	落 札 率
1	いであ(株)	行動圏調査、既存文献調査、有識者へのヒアリング等	3	7	37
2	(財)日本鳥類保護連盟	現地調査、全国の傾向を見るアンケート調査、保全方策事例の収集	2	5	70
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					